

## 第十四回 遠賀堀川



JR 折尾駅前の市街地を流れる堀川

八幡西区折尾の市街地。JR折尾駅前はこの街の象徴とも言える堀川はある。江戸時代、福岡藩が掘削した遠賀川と洞海湾を結ぶ運河。かつて石炭や農産物などを運ぶ「川ひらた」（五平太船とも呼ぶ）が通っていたが、今は生活用水などの排水路と化した。その堀川を見直す機運が高まっている。

### 開削 黒田長政の命で

遠賀川は所によって川床が周囲より高い天井川。大雨で氾濫が絶えず、初代藩主黒田長政自ら現地を視察し、遠賀川から洞海湾までの運河開削を決めた。だが一六二一年の着工の2年後、長政が死去、藩財政の窮乏などから工事は中止された。再開したのは一七五一年。当初計画のルートは地盤が軟弱だったことから再開時は堅い岩盤の「車返し」の地（現・水巻町吉田東）の開削に変え、福岡城を築いた

石工らを動員し4年がかりで切り抜いた。遠賀川からの取水口は中間唐戸（からと）（現・中間市）で、一七六二年に開通した。その後、取水口を上流の寿命（現・八幡西区楠橋）に移して一八〇四年、洞海湾まで長さ12.1キロ、平均幅二メートル、深さ1.8メートルの現在の運河が完成した。長政時代の着手から実に183年の年月だった。

### 堀川に新たな役割 市民とともに

この開通により周辺16か村計480鈔の水田が潤い、筑豊の石炭を積出港の若松などに運ぶ水路が出来た。明治32年（一八九九）、年間13万隻余が通ったと記録されている。その石炭が八幡製鐵所の誕生、産業近代化を促した。

水運の役割は一八九一年若松―直方間の鉄道筑豊線開通を契機に漸次、軽減し昭和13年に終わった。大崎好一黒崎歴史ふれあい館事務局長によると、農業用水の役割も昭和30年代に終わり、同44年には遠賀川からではなく別系統の曲川から注水する排水路となった。その結果は…。



かつて堀川で石炭や農産物を運んでいた川ひらた（黒崎歴史ふれあい館提供）

「折尾市街地ではへドロが膝の上までたまって悪臭がし、炭酸ガスが噴き出し、川が泣いていました」と近くに住む中村恭子さん（72）。「どうかしなければ」と有志4人で平成14年、へドロ除去、水質浄化のEM菌団子の投入などを始めた。運動はやがて折尾の全域に広がり、今、市街地にもようやく魚が戻ってきた。今年秋には、その流れに川ひらたを浮かべて堀川復活をアピールし、運動盛り上げを計画している。「いずれは観光船も浮かべたい」と中村さん。

## イベントカレンダー

6月	4日5日	折尾まつり 4日17:30～21:30 5日10:30～17:30 折尾西公園
	4日5日	第28回 とばた菖蒲まつり2016 11:00～16:00 夜宮公園のびのび広場と周辺一帯
	18日19日	若松あじさい祭り 10:00～16:00 高塔山公園 佐藤公園 若松商店街一帯 ほか
7月	5日(祝)	戸畑祇園山笠 浅生1号公園周辺 他戸畑区内
	9日10日	筑前木屋瀬祇園祭 10:00～21:00 須賀神社
	15日～17日	小倉祇園太鼓 小倉城大手門前広場および小文字通り周辺

7月	17日(日)	門司港ポート天国 9:00～15:00 門司港レトロ 西海岸地区
	22日23日	レトロの夜「門司港ビアフェスタ」 門司港レトロ中央広場
	22～25日	黒崎祇園山笠 八幡西区 黒崎地区
	30日(土)	平尾台観光祭 平尾台自然の郷
	30日(土)	くきのうみ花火の祭典 20:00～20:40 ※荒天中止 洞海湾（若戸大橋周辺及びエルナード）
	30日31日	若松みなと祭り 若松中心市街地